

「天空のしずく」適期収穫研修会を開催！（Vol.22 令和7年9月）

9月2日、当試験場において「天空のしずく」適期収穫研修会を県園芸作物生産振興協議会うまいくだもの推進部会と共催しました。

この研修会は、当試験場で育成された日本なし新品種「天空のしずく」（本年7月に品種登録）の本格的な出荷を見据え、高品質な果実生産につながる適期収穫のポイントを周知するもので、県内生産者をはじめ、JA全農長野、JA、農業農村支援センターなどの指導機関や市場関係者など80名程と多数の参加がありました。

研修会では、「天空のしずく」（南農ナシ6号）について、品種の特徴や栽培法、収穫適期の判断方法について実演を交えて解説しました。そのなかで、本品種は果皮の地色による収穫期の判断が難しいことから、携帯型分光計を用いて非破壊で熟度を測定することが可能であることを紹介しました。

また、本品種の早採り（未熟）、適期収穫（適熟）、収穫遅れ（やや過熟）と3段階の果実を参加者自らが試食することで、適期収穫の重要性を認識頂きました。

適期収穫のほかに、一般的な平棚栽培よりも省力的な栽培が可能となる「平棚・V字ジョイント仕立て栽培」の試験ほ場において、ジョイント樹の生育概要や試験場での取り組みなども紹介しました。

参加者からは質問や意見が多く出され、活気ある研修会となりました。適期収穫で美味しい「天空のしずく」が販売されることにより、ブランド化が進むことを願っています。



「天空のしずく」の解説



平棚ジョイント栽培の解説